

RKK Group Magazine りゅうかい RYUKAI

RKK

2018 No.285
春季号



夢とくらしと文化をはこぶ
琉球海運株式会社

琉球海運グループ

沖縄港運(株)
(株)沖縄輸送サービス

宮古港運(株)
(株)九州輸送サービス

八重山港運(株)
(株)きょうはい

沖縄荷役サービス(株)
国際輸送(株)

株 沖縄急送
琉海リース(株)

トップエッセイ

私の旧十六日祭 (じゅうろくにづ)

宮古港運株式会社

常務取締役 伊舎堂 登美夫

観光客の皆さん、めずらしそうに宮古島の島民を見ていました。その視線の先には、墓前や海岸端で線香をあげたり、車座になり重箱の御馳走を供までが一緒に重箱の御馳走を並べ食べている姿です。まるで平昌オリンピックで銅メダルを獲得した女子カーリングチームの「モグモグタイム」のように食べる姿は、不思

議な光景に見えたかもしません。これが宮古島の「じゅうろくにづ」です。

さて旧十六日祭の由来としては、簡単に言うと「ご先祖様の正月」だそうです。旧暦の一月十六日に行われ、旧暦の一月十四日～十五日は「小正月」といい、この日は生きている人の旧正月の終わりを意味して

で、祖靈を靈魂にはべらせて共に供養し、共食してもてなし、そして送り出す。シマビトはその行事を「後生の正月」と称して祝事とした次第であろう」としています。

今年の三月三日に、わが島で行われた、旧暦一月十六日「じゅうろくにづ」の一日は、沖縄本島でいう清明祭（シーミー）と似たような感じです。沖縄本島でもあるようですが、宮古島の旧十六日祭はシーミーが無いせいか特に盛大で、なかには正月に帰郷できなくても、十六日祭には参加するという人もいるほどです。家族・親戚が先祖の前に集まり、お供え物の御馳走やウチカビ（あの世のお金）線香・お酒等を準備して、お墓参りをします。それらを墓前に並べ御神酒を捧げウチカビを焼き（今年は一千万円程焼き送金しましたが入金確認の連絡がまだありません）、線香をあげてから、健康や子孫繁栄をお祈りし、そのおさがりを家族や親戚一同で共食し近況

や知らせを報告しあいながら、励ましあつたりしてより一層の「絆」を深めていくのです。また隣近所のお墓の一族との会話も楽しみで、見慣れない人がいたりすると、「うわあ、んざあぬどうがたりやー? (どうこのだれだつたかねー?)」「んざあぬ、ゆみりやー? (何処の嫁ですか?)」など、たわいもない会話で盛り上がったりしています。最後に

弁当を頬張ります。ほのぼのとする島の風物詩の一つです。

おわりに、去年の六月に琉球海運グループ経営委員会のメンバーとなり、翁長委員長をはじめ、委員の皆さんに励ましや助言を頂いたりし、「絆」を深めています。会議の後の懇親会ではおいしいお酒や料理などを共食し時間を共有することで一体感がでて、ますます仕事への意欲が湧いてきます。

こういった共食を通して、これまでの「絆」、これから新しい「絆」を深め、より一層大切にし強固なものにして、何にも代えがたいすばらしい「絆」が磨き上げられていくことを、社業発展につながっていくと思います。

来年の「じゅうろくにづ」には祖先に子孫繁栄の報告が出来そうですね。



平成30年度 琉球海運株式会社 入社式



平成30年4月2日(月)、本社会議室において平成30年度入社式が挙行されました。今年度は、陸上職員3名・海上職員2名が入社しました。

入社式では、宮城社長より新入社員それぞれに辞令が交付された後、社長からの祝辞を受けて、新入社員を代表して棚原開さんより答辞が述べられました。

記念撮影の後、同会議室においてオリエンテーションが行われ、翁長専務より琉球海運の概要、各部の部長より部署ごとの仕事内容等の説明がなされました。



答辞を述べる棚原さん

平成三十年度 新入社員代表 棚原 開
おはようございます。新入社員を代表いたしましてご挨拶させていただきます。

ただいまは、社長よりあたたかいお言葉を頂戴し、心より感謝申し上げます。このたび、私達は琉球海運という念願の会社に入社することができます。また、私達の入社式に社長をはじめ多数の役職員の皆様にご出席を頂き大変感激しております。

これからは、琉球海運の一員として誇りと責任を持ち、初心を忘れず一生懸命仕事に励み、力を発揮したいと思つております。

また、少しでも大きく社会に貢献できるよう頑張りますので、先輩方のご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願ひ致します。

ここに会社の規則を守り、ご期待にそえる社員に一日も早くなることをお誓い申し上げ、答辞とさせていただきます。

平成三十年四月二日

RKKグループ ビジョン制定報告会

二月二十六日(月)パシフィックホテル沖縄にて、RKKグループビジョン制定報告会を開催しました。RKKグループビジョンとは、琉球海運グループの経営目標・方針を定めたものです。今回の報告会は、グループ各社の役員と部長職の方々を対象として開催されました。

RKKグループビジョン制定の背景には、沖縄県の好調な経済や琉球海運グループでの船腹拡大・設備投資などがあります。こうした機会に、今一度グループ各社の進むべき方向性を一致させ、総力を結集してグループの成長を促進するという目的のもと策定がなされました。策定に当たっては、平成二十九年七月から十二月まで毎月一回、琉球海運株グループ戦略室とグループ各社の策定代表者が集まって議論を行つてきました。二月二十六日の報告会では、総勢八十二名の参加者の皆さんに、半年間の成果を伝えることができました。

三月には、琉球海運本社職員を対象とした報告会も実施しました。

本年度以降、琉球海運㈱各支店・営業所ならびにグループ各社へ訪問し、RKKグループビジョンの周知活動を進めていく予定です。今後は、RKKグループビジョンの達成に向けて各種施策を実行していく段階になります。各社役職員の皆さんには引き続き関心を寄せていただき、ビジョンの達成に向けてグループ一丸となつて協力して行きましょう。



報告会の様子



説明に耳を傾ける学生の皆さん



丁寧な説明で対応する総務部 備瀬さん

平成三十年三月六日(火)沖縄コンベンションセンター展示棟において、「ジョーナビ新卒二〇一九就活festa」が開催されました。主に沖縄県内企業を中心とした約六十社のブースが用意され就活が解禁となった三月ということもあり、真新しいスーツ姿でビシッと決めた大勢の学生が訪れました。もちろん当社も気合いを入れて、ブースを構えました。

説明を行う私たちも緊張しながらも、興味・関心を持つて訪れてくれる学生が一人でも多く現れてくれるように、そしてその中から、未来の琉海マン・ウーマンが誕生してくれる 것을期待しています！

くれた学生のために賢明に当社の魅力・可能性を伝え、懇談タイムを設けることで学生が不安に思っていることなどに耳を傾けて話すことができました。

「琉球海運ってどういう会社なんだろ？」と興味を持つてくれる学生が一人でも多く現れてくれるよう、そしてその中から、未来の琉海マン・ウーマンが誕生してくれることを期待しています！

学生の皆さんの健闘を祈ります！

ジョーナビ新卒二〇一九 合同企業説明会



以前は倉庫として使われて、もったいなかった…

3月29日(木)約2ヶ月の工事を行っていた琉海本社ビル1階のリフォームが終わり、初お披露目が行われました。以前は倉庫として使われてガラっとしていた空間でしたが、リフォーム後は白を基調とした美しい姿に生まれ変わりました！

役員応接室、大人数を収容できる会議室を含めた全5室を完備し、利用される皆さんのが心地よく過ごせる空間となっています。これを機会に、是非とも琉海運に足をお運び下さい。

(良い空間が良い仕事を生む…もっと筆者も頑張れそうです！)



リフォーム後、綺麗に船舶模型も並んでおります♪



大きめの会議室も完備！

建造工事をウォッチ！～RKK中城総合物流センター～

平成30年11月完成、12月からの稼働を予定しているRKK中城総合物流センターの建造工事の様子を、上空からウォッチしてみました！

1月から3月の段階で、基礎となる土台が少し完成している様子です。上空からの写真だと、大きな工事が着々と進んでいるのがはっきりと分かりますね。

(筆者は休日行ってみたのですが、陸地からだと全体像がはっきり見えず断念…)

引き続き工事の様子を皆さんにお伝えできるようにいたしますので、お楽しみに！



1月末の様子（今からといった感じですね）



3月末の様子（建物の土台がハッキリ分かります）